



令和2年度企画展「五月女菴遺跡と亀ヶ岡文化の世界」開催中！

五月女菴（そとめやち）遺跡は、縄文晩期の亀ヶ岡文化の墓制の実態や精神文化を解明できる貴重な遺跡として、平成29年に市の史跡に指定されました。

本展は、五月女菴遺跡から出土した遺物や写真パネルを通して、亀ヶ岡文化の世界を知ることができる貴重な機会ですので、たくさんのご来場をお待ちしています。

会 期…3月21日(日)まで
場 所…立佞武多の館2階 美術展示ギャラリー
開館時間…9:00～17:00（入館時間16:30まで）
入 館 料…300円（団体20名以上、270円）
高校生以下無料

ギャラリートーク

企画展について、専門職員が解説します。

日時…①2月6日(土) 13:30～
②2月7日(日) 13:30～

*場所は美術展示ギャラリーです。
当日、入館料が必要となります。



問い合わせ先…社会教育課 内線2932

五月女菴遺跡と
亀ヶ岡文化の世界

12.4(金)～3.21(日)

立佞武多の館2階 美術展示ギャラリー

■開館時間/午前9時～午後6時（入館時間は午後4時30分まで）
■観覧料/大人・小学生300円（20名以上の団体は270円）、高校生以下無料
■主催/五所川原市教育委員会、共催/五所川原市観光協会
■お問い合わせ/五所川原市教育委員会社会教育課文化係 TEL.0173-35-2111（内線2932）



安全・安心なまちづくり 地域で取り組む「地域の目」活動を推進

地域住民の『ながら見守り』の推進

通学路や公園は、周囲からの視線がなければ、犯罪の起こる可能性がある危険な場所となるので、住民の見守りの目で、子ども達の安全につなげましょう。

▷地域住民が、玄関や庭先での掃除、買物、犬の散歩等の日常活動を行う際、防犯の視点をもって見守りを行う「ながら見守り」を推進します。

▷こどもの登下校の時間帯に、自宅で「家事をしながら」、屋外で「散歩しながら」、会社で「一息いれながら」など周囲の風景を見て、子どもを見守る活動を推進します。

～「登下校見守る目運動」の推進～

子ども達が登校する午前7時から8時までと、下校する午後2時から5時までの時間帯に、積極的に外での用事、例えば玄関先の掃除や花の水やり、犬の散歩、買い物などをしながら、子どもを見守ることを生活の一部にしようという運動です。

▷商業等の事業者にも、日常の事業活動を行いながら防犯の視点をもって見守りを行う「ながら見守り」を推進します。

『こども・女性110番の家』の協力者を募集

▷「こども・女性110番の家」は、協力者がステッカーを見やすい場所に貼ることで、こどもや女性が「声かけ」「つきまとい」など、何らかの被害に遭ったとき、または、遭いそうになったときに一時的に保護するとともに、警察などへ連絡して被害者の安全を確保するボランティア活動です。



市では、当該活動にご協力いただける方を募集しています。負担にならないよう、不審者を取り押さえたり、相談所のような対応はお願いしていませんので、ご安心ください。

また、ステッカーを見やすい場所に貼ることにより、地域の防犯にもつながりますので、お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先…環境対策課 内線2365